食育だより　４月号

令和５年４月１４日
佐世保市世知原給食センター

新年度が始まりました。「食育」は知育、徳育、体の基礎となる大切なものです。食育基本法の前文には、「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要である」とあります。学校の食育の中心は「学校給食」です。安全安心でおいしい給食を通して、子どもたちに食のすばらしさを伝えていきます。

人を良くすると書いて「食」
～学校給食の目標～

「人を良くすると書いて『食』」といわれます。「食」という漢字のそもそもの成り立ちとは違うそうですが、食べ物や食べ方の大切さを言い当てたものです。心身の健やかな成長を願い、学校教育の一環として行われる学校給食には、食を通した人間形成や生きる力を育むため、次のような目標が定められています。

学校給食の目標

適切な栄養と味覚で、健やかな体と心を育む。

食べることの大切さや喜びを知る。

給食を手本に望ましい食べ方を学ぶ。

毎日の食事について、自分でも考え、判断して食べられるようになる。

いつも感謝の気持ちをもって食事をいただくことができる。

他人のことを考えて思いやり、学校生活を豊かなものにする。

食を通して地域の伝統や歴史を学び、食文化を未来に伝えていく。

おねがい

給食当番の白衣

給食当番の白衣は、世知原小では個人もちです。週末にご家庭に持ち帰ります。お手数ですが、洗濯と滅菌のためのアイロンがけを行って、週明けに学校に持たせてくださるようお願いいたします。また、ボタンの補修等は、各ご家庭でおねがいします。

献立表の活用

毎月、おたよりと献立表を発行します。今年度も食育の観点から、交流給食などさまざまな給食行事、行事食や旬の食材を取り入れた献立、教科などに関連した献立を提供していきます。ぜひご家庭でも話題にしてください。